

## 水産海洋地域研究集会

### 第12回 駿河湾・伊豆海嶺地域研究集会 —サクラエビと駿河湾の海洋環境について考える—

共 催：一般社団法人水産海洋学会，東海大学海洋学部，東海大学海洋研究所

日 時：2020年3月13日(金) 13:00-17:00

場 所：東海大学海洋学部3号館3401教室(静岡市清水区折戸3-20-1)

コンピーナ：田中 昭彦(東海大学清水教セ)・植原 量行(東海大海洋)

#### プログラム

挨拶：山下 洋(一般社団法人水産海洋学会長) 13:00-13:05

開会挨拶：秋山 信彦(東海大学海洋学部長) 13:05-13:10

趣旨説明：田中 昭彦・植原 量行 13:10-13:15

サクラエビ資源と漁業制度：

1. 駿河湾のサクラエビ資源について…花井孝之(静岡県水技研) 13:15-13:45

2. サクラエビのプール制度の課題と展望…勝川俊雄(東京海洋大学術研究院) 13:45-14:15

休憩 14:15-14:20

サクラエビを取り巻く海洋環境：

1. 衛星から見た駿河湾の河川水流入とクロロフィル分布  
…石坂丞二(名大ISEE)・田中昭彦(東海大清水教セ)・虎谷充浩(東海大工) 14:20-14:40

2. 夏季駿河湾における亜表層の水溫極小について  
…岡本彩奈・植原量行・高橋大介(東海大海洋) 14:40-15:00

3. 駿河湾における模擬的粒子の輸送について  
…瀬藤聡・日下彰・清水勇吾(中央水研) 15:00-15:20

休憩 15:20-15:40

4. 黒潮大蛇行に伴う遠州灘および周辺海域の海況の変化  
…日下彰・瀬藤聡・清水勇吾・安倍大介・伊藤大樹・亀田卓彦(中央水研) 15:40-16:00

5. 駿河湾海洋環境の理解の一助となるHFレーダー観測の紹介  
…横洲弘武・橋詰正弘(中部電力) 16:00-16:20

総合討論：今後の駿河湾の環境動態の把握とサクラエビ資源管理について考える 16:20-17:00

開催趣旨：

駿河湾漁業の花形であるサクラエビ漁は、産卵期とされる6月から9月までを禁漁期間とし、禁漁明けの10月下旬から12月下旬を秋漁、3月下旬から6月上旬までを春漁と称して実施されている。サクラエビ漁が成立して100年余、脈々と漁が続けられてきたが、2018年の春漁では過去30年で最低となる記録的な不漁となったことを受けて、同年秋漁が事実上休漁となった。この記録的な不漁の原因は現在のところ不明である。静岡県のデータによると、そもそもサクラエビの年間漁獲量はこれまで大きく変動していることがわかっている。しかしながら人為的影響と、自然変動による影響を含めたサクラエビの資源動態メカニズムは未だ不明である。本研究集会では、サクラエビ資源の変動要因について、サクラエビ漁業の特徴であるプール制度(水揚げ代金の均等配分制)を含めた人為的側面と、自然環境的側面の両面から現状を把握し、環境変動の中での最適な管理体制を考えることを目的とする。